

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.21

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪3F
事務局 東大阪市小阪本町1丁目5-14
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ405号
TEL: 06-6753-8823
FAX: 06-6753-8826
E-mail: jahcrc@gmail.com



会長 佐井 義昌
会長ノミニー 岡本 慎一
副会長 佐藤 三千秋
幹事 浅野 光男
会報委員長 岩橋 竜介

ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019~2020 年度 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

第 2141 回例会 令和 2 年 2 月 17 日 (月曜日) 第 21 号

本日の例会 2月17日(月) 第2例会

- ソング 『我等の生業』
東大阪西RC・東大阪中央RC合同例会
シェラトン3階 「志摩の間」12:30~
- 卓話 『献血について』
大阪府赤十字血液センター
事業推進一部 献血推進課 主事 中谷章太様
- 本日の献立 フランス肉料理

次回の例会 3月2日(月) 第1例会

- 卓話 『米山梅吉とその生涯』
担当: 金子 勝信会員
- 本日の献立 おまかせ御膳

前回の例会 2月10日(月) 第1例会

会長挨拶 会長 佐井 義昌

皆様、こんばんは。いまから、新型コロナウイルスの件をご報告したいと思います。

今年、1月22日から新型コロナウイルスは中国武漢から発生しました。この新型コロナウイルスに感染すると、およそ10日間から最長2週間の潜伏期間があります。発症すると、発熱、咳などの症状がありますが、症状の無い方もいます。また、重症化すると、肺炎などが、完治しない場合、亡くられるケースがあるようです。今回死者は2月10日現在では、感染地域27国、感染者40,234人、死者906人です。

2003年に発生したサーズの死者は774人でした。今回はそれを上回り、急速に感染が拡大しております。新型のウイルスで、ワクチンも無い中、どうか皆様、外出時にマスクを着用し、外から戻ったときには、手洗いを忘れないように心がけてください。

幹事報告 幹事 浅野 光男

1. 事がシェラトン都ホテル大阪3階 明日香の間にて開催されます。岡本会長エレクト、岩崎副幹事が出席して下さいます。よろしくお願いいたします。
2. ンパスにおきまして、地区チーム研修セミナーが開催されます。当クラブからは前年に引き続き金子会員がクラブ奉仕・拡大増強副委員長として出席して下さいます。よろしくお願いいたします。
3. 次週2月17日(月)は東大阪西ロータリークラブとの合同例会です。当クラブがホストですので、場所は「志摩の間」、時間は12:30からといつも通りです。多数のご参加をよろしくお願いいたします。
4. 次週例会終了後2階「ゆう」にて第8回定例理事役員会を開催致します。理事役員の皆様にはご参集の程よろしくお願いいたします。

出席報告

帆足 委員

本日の会員数	21名
本日の出席者数	16名
本日の出席規定適用免除会員	11名
本日の出席率	93.33%
12月9日の修正出席率	94.12%

二コ二コ箱報告

SAA 岩橋 竜介

佐井会長 朝晩はまだまだ冷え込みますが、新型コロナウイルスに感染しないようにお気をつけて下さい。

イニシャルスピーチ

芝池 福子会員

私は大阪で生まれ育っており、両親はもう他界しております。学歴は大阪市立扇町商業高等卒で卒業後は貿易事務、KEYパンチャー、電子部品会社で営業事務をしていました。本当は大学に進学したかったのですが、中学3年生の時の担任から進路は決めていたのにも関わらず、商業高校にしたらと提案あり、お母さんも助かるだろうといわれたので商業高校にしました。なので受かった時も少しもうれしくなかったです。でも、いい高校でした。

私の人生の分岐点は一回目そこだったかな？

大学に進学することを選んでいたらどうなったのでしょうか？

人生二回目の分岐点は結婚です。選んだ相手が悪かった。結婚は絶対に失敗したくなかったのですが結果、子供を5人産みましたが離婚です。結婚決まった時に何か違うな？と思ったので相手に伝えたのですが、そんなことないと言われ信じて結婚しましたが、このとおりです。離婚してからは結婚が失敗ということと5人の子供が失敗した子みたいなので、そういう言い方はしなくなりました。そしてこの経験から自分の感を信じることにしました。

世帯主として働かなくてはいけなくなってからはKOSE化粧品のルート営業や金鳥、ロッテと時間の自由になる直行直帰の委託の仕事しながら、保険の仕事も人に勧められ同時に始めました。

ある時、代理店として独立すると決めたときにその他のすべての仕事を辞めて保険業だけに取り組むこととなり、個人代理店から今は会社になっています。

保険の仕事は本当にいい仕事だと思います。インセンティブだけのお仕事になりますが、成果ができればそれなりの収入になり、時間も自由で、ボランティアもでき、こんないい仕事はないと思っています。

さて、こんな私が浅野さんと知りあってからロータリクラブにお誘い頂き入会することにすぐ決めた理由をお話しします。3番目の子供が16歳17歳になる少し前ですが白血病になりました。ただ、診断名がはっきりするまでずいぶんと時間がかかりました。この話をすると本当は長くなるのですが、かいつまむと始めは足が痛いから始まり、レントゲンや血液検査でも何もない、成長痛でもないMRIをとっても何もないということですが体重は10キロ減、私なら手をたたいて喜びますが、その時の息子はとてもスマートだったので、カリカリになりました。歩くこともできなくなるくらい本人は足や腰あたりが痛いときもあり松葉杖で高校での移動も友達の手をかりていました。

私は保険の仕事で忙しくしていましたが今おもうと不思議ですが、アフラックの創業者の一人で松井秀文さん、今はゴールドリボンの理事長をしており、天皇陛下から旭日小綬章もいただいている方です。その方の講演があり小児がんの現状だとかの話がまさに今、私の子供に起きていることと似ていて、アフラックの支社長ですら気軽に話できないような方でしたが名刺交換させていただいたので、神にもすがり気持ちでメールをしました。そしたらすぐお電話あり、詳しく話してと言っていたので色々情報をもらい、小児がんで亡くされた親御さんが活動されている会だとか、小児がん、ユーイング肉腫の親の会だとかを紹介していただいて過去に診断をくつがえした病院があるとか、その他色々教えていただきました。

私はその時点では4か所目の病院に子供を連れて行っていました。やっとガンと診断されてはいるけどユーイング肉腫で助からないと思っていました。セカンドオピニオンでもかわらずサードオピニオンでユーイング肉腫から白血病と診断が変わりました。手術で骨も取り血液のがんではないとはっきりいわれていたのにも思いましたが白血病に診断が変わった時は助かると思いホッとしました、それからは先生を紹介してもらい今は25歳で元気に保険の仕事もしていますが、心齋橋にBARを開いています。

こんな命に係わる経験をする、みんなも助かってほしい、セカンドオピニオンは受けたほうがいいとかなんか人の為と言わなくてはという気持ちになります。そんな経験をするまではボランティアとか私の辞書にはありませんでしたし、私が助けてほしいくらい思っていたのですが、保険の仕事がこの子を助ける為に

していたのかもしれないと思いました。情報を知っている知っていないで大分変わるんだと実感しました。

浅野さんも阪神淡路震災があった時すぐ駆け付けその後7日間も往復して知り合いの家族の為に息子さんと尽くされたという話を聞いて、すごいなあと尊敬しました。なので、浅野さんが会員になられているロータリークラブでの活動は素晴らしいはずだとこんな私であればとすぐ決めました。

もう一つは自己啓発的な本をよむのが好きで、きっと素晴らしい人達の体験談も聞けるのではないかと期待大です、後二年前から、やりたい事、気になる事をひとつずつやっつけていこうと決めたので、基本は人からのお誘いは家族や仕事に迷惑かけないなら断らない主義で、まだまだですが、少しでも人の役に立つ事ならやりたいと思ったからです。昨年河内長野の西友千代田店に保険ショップをだしたので、今まで自由だった時間が自由でなくなってしまい、なかなか思うようにいかなくなりましたので、出席率も悪くなるかもしれませんができるだけ出席していくように心がけていますので、どうぞこれから宜しくお願いします。

イニシャルスピーチ 帆足 嘉寿大会員

帆足組、執行役員の帆足嘉寿大といます。

今から私の生い立ちや経歴をお話し致します。

生まれは大阪市西成区・育ちも大阪市西成区で、私は四人兄妹で生まれ兄・兄・私・妹・の三男として生まれました。父は私が6歳・小学一年生の時に病気で他界しました。

それからは、母の女手一つで兄妹四人が育ちました小さい時は家族は貧しく、私は小学4年生からアルバイトをし、スーパーのバックヤードや野菜配達、牛乳配達などをし、中学では学校にあまり行かなく日雇い労働や新聞配達で働き家計の足しにしていました。

中学卒業後、15歳(1995年)で同級生の父が経営する引越屋に正社員として働かせて頂きました。当時は勉強一切せずお金儲けを最優先にしていた私には学力はありません。ですので、私の学歴は中卒です。引越屋さんでは1年間働かせて頂き、その後・親族経営である(有)帆足組と言う道路舗装会社に16歳(1996年)で勤めました。帆足組は祖父の代から開業しており、祖父が亡くなり、長男である父が後を継ぎました。その後、父も亡くなり四男である叔父が今、会社の経営をしております。総業60年以上の会社です。帆足組には22歳まで現場で働かせて頂き、その

間に、結婚もし二人の子供も授かりました。起業願望があった私はミナミでBARを開業しましたが三か月で潰れました。そして離婚。

24歳(2004年)の時に介護事業を母と開業。介護事業では訪問介護から始め年々事業拡大し、今では在宅介護全般を営んでおります。その後28歳(2008年)の時に重機・自動車買取事業を設立、

34歳(2014年)の時に(株)帆足産業設立、現在では(有)帆足組を含め4社の事業を柱に経営しております。身内会社では(株)アンドハコ・ラボトリーの顧問をさせて頂いております。

次に私が今行っている活動もお話しさせていただきます。毎月第2金曜日に20年以上続けている阿波座会と言う異業種交流会があります。そこで私は副会長をしております。この異業種交流会を開催しているお店が名村会員の経営するai-Qになります。この阿波座会で名村会員と出逢い今でもご厚意にしてくれております。また、名村会員が経営されるai-Qでは、浅野会員との出逢いの場もありRCの魅力をお聞きしRCには興味がありました。それからは浅野会員にもご好意に頂き、浅野会員の会社で行われている花火大会のバーベキューや年末の餅つき大会に呼んで頂いております。この場では、浅野会員を通じ小川会員とおも出逢えました。

話は活動の話に戻り、而今逍遥大学関西と言う慶応義塾大学名誉教授・法学博士、平成国際大学名誉学長である中村勝範先生主催の而今の会がありますそこで私は関西実行委員長として活動させて頂いております。この集まりは全国から中村勝範先生のゼミ生を始め、学歴関係なく誰でも参加出来る会です

次に、毎年父の日に開催されるベストファーザー一賞受賞者と虐待を受けた子どもや親のいない子ども達と一緒に遊んだり、物資を贈ったりのボランティア活動も行っております。また、顧問をしている(株)アンドハコ・ラボラトリーでは、アートを通じて子ども達に知育・美育を個々で高め、今の子ども達に自分で考える力を付けれる広場を創ったりしております。例として、東大阪にある石切神社で開催している参拝日和や奈良県三宅町のアート教育事業で関係人口を増やす取り組みも行政からのご依頼でお手伝いさせて頂いております。最後にRCに加入した理由の一つとして、この様な子ども達と触れ合える場があると知り入会しました。

